

敦煌寫本研究年報

高田時雄 主編

岩尾一史 副主編
永田知之

第十五號

2021年3月

京都大學人文科學研究所
中國中世寫本研究會

編輯委員

赤木崇敏（東京女子大學）、荒見泰史（廣島大學）、岩尾一史（龍谷大學）、
岩本篤志（立正大學）、大西磨希子（佛教大學）、玄幸子（關西大學）、
坂尻彰宏（大阪大學）、辻正博（京都大學）、永田知之（京都大學）、
道坂昭廣（京都大學）、山口正晃（大手前大學）

編輯助理

山本孝子、龔麗坤

注 記

本號は編輯委員の一人道坂昭廣が研究代表者をつとめる日本學術振興會科學研究費基盤研究（B）「國際的情報發信を目的とした中國典籍日本古寫本に對する精密な研究」の研究成果の一部である。

目次

S.2204『(擬)董永變文』再考 荒見泰史.....	1
講經文の成立と利用——「維摩詰所說經講經文(擬)」を中心に 高井 龍.....	17
王勃《陸録事墓誌》の斷簡について 道坂昭廣.....	35
大狀の諸相——唐末から宋における私信としての展開 山本孝子.....	51
《大乘經纂要義》藏漢對勘與漢文新譯 任小波.....	67
歸義軍政權初期におけるチベット語公印の使用とその背景 ——Pelliot tibétain 1171の検討を中心に 岩尾一史 坂尻彰宏.....	97
《十大弟子讚》的藏漢對照本及藏譯本 龔麗坤.....	111
再び白堅について 高田時雄.....	137

稿約

- 一、本刊には敦煌吐魯番寫本及び中央亞細亞發見寫本に關する多様な論考を收載するが、また日本古寫本のような中國外の地域に傳承される寫本についてもその採録範圍とする。
- 一、収録論文の採否は編輯委員會の議を経るものとし、原稿の修正を求める場合がある。
- 一、本刊に掲載する論文は、日本語、中國語或いは英語で執筆するものとし、執筆様式については特段の規定を設けないが、各言語において最も普通な方式を採用する。
- 一、本刊に掲載された論文は、原則として京都大學學術情報リポジトリ（KURE-NAI）を通じて、インターネット上で公開される。

〔敦煌寫本研究年報 第十五號〕

2021年3月31日發行

編者 《年報》編輯委員會

發行者 京都大學人文科學研究所
「中國中世寫本研究會」

〒606-8265 京都市左京區北白川東小倉町47

Phone 075-753-6993 Fax 075-753-6999

ISSN 1882-1626